

	第45号	平成29年11月14日
	社会福祉法人元気村 夢工房翔裕園 〒365-0025 埼玉県鴻巣市下谷4-1 TEL048-540-5000 FAX048-544-0050 あおぞらベーカリー TEL048-540-7080	

平成29年度中間事業報告

平成29年度も早いもので半年が経過いたしました。当園においては基本方針を「就労できる支援体制を継続し、生産活動による利用者の職業能力開発を図る」を掲げ取り組んでおります。

就労移行支援事業においては、施設外就労を取り入れ就労に向けた訓練を実施し9月までに3名が就職いたしました。下半期は合同面接会のシーズンになりますので就職に向けて日々訓練し就職できるよう支援して参ります。

就労継続支援B型事業においては、「元気ファーム・いちご園」が3シーズン目を迎えます。3シーズン目になり職員もいちご栽培管理について知識を得ましたので、今年度は利用者の方々には、定植から携わって頂いております。順調に育てば年明けよりいちご狩り・パック販売を開始いたしますので皆様のお越しをお待ちしております。そして埼玉県農業参入チャレンジ事業は、3年間の支援を終了し、埼玉県の支援なく玉ねぎ栽培を行い来年6月の収穫を迎えたいと思います。玉ねぎの農地につきましては、施設建物といちごハウスの間に移動致します。その他の生産活動（パン製造販売、受託作業）も継続しております。平成29年4月支給分より基本時給（100円）とさせて頂き支給しておりますが余ったお金については、3・9月に在籍している方に支給しております。ご理解を頂き誠にありがとうございます。上半期の平均工賃は、210円でした。下半期の昨年実績を下回らないよう生産活動に取り組んでまいりますのでご支援の程宜しくお願い致します。

以上、運営の結果利用率も高水準を維持できました。下半期もご利用される方々と対話し職員一同サービス向上に努力致しますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

施設長

山登り（10月のレクリエーション）

平成29年10月14日（土）のレクリエーションは、小川町の仙元山登山でした。低い山で遊歩道ではありますが前日の雨で足元が悪く、当日もいつ降り出すか分からないというハラハラの状態。いろいろありながら、全員が登頂！下り道は特に大変でしたが、生還しました。以下は参加したメンバー達の感想です。

メンバーの感想

『大変でしたが、楽しく登りました。』Tさん

『ちょっとつかれました。はれたときにまた、おがわまちにいきましょう。職員さんにたすけてもらい、ありがとうございました。とてもうれしかったです。』Tさん

『おやつ交換会が盛大でした。お昼のOさんのラーメンがおいしそうでした。こんど作りたいです。』

『もっと高い山に行きたいです。』Sさん

『僕は、レクリエーションで仙元山に登ってきました。中腹まで登ったら、足がパンパンでした。ですが、頂上まで行けたから、達成感がありました。また、レクで1年に1回ぐらいは山に行きたいです。』Sさん



合同企業面接会

合同企業面接会は毎年埼玉県が開催しており、障害者雇用をしている企業が約50社集まりました。就労移行からは1名面接を受けました。

毎年さいたまスーパーアリーナで開催されている合同企業説明会ですが、今年はソニックシティでの開催となりました。昨年も参加しているメンバーもいれば、今年の春に高校を卒業したばかりで初めて参加するメンバーもいました。会場は違えど、会場内の熱気は今年も変わらず、人込みと企業の人事担当者の熱意と求職者の熱気で会場はものすごく暑かったです。



メンバーの感想

色々な企業が参加しており、面接などもしてとても参考になった。まだ分からないが来年は自分が参加する事になるかもしれないので今から準備しておこうと思った。そして、自分に合った企業が見つければいいと感じた。 Oさん

スイミング（体力づくり）

皆さん、水中ウォーキングは知っていますか？陸上では体への負荷がかかりすぎるためなかなかウォーキングできない方が、水中でウォーキングを行う方法です。

メリットとしては、体への負荷が軽くなること。特にケガをしている方や運動不足の方はよく行っています。デメリットとしてはなかなか痩せにくいこと（個人の体質によるとのこと）。水の中は冷たいのでなかなか汗をかくことができません。なので脂肪が燃えにくくなってしまいます（ダイエットなら陸上で）。

水中ウォーキングを行うことによって陸上で動くための準備をすることが目的となります。

現在就労移行では2名のメンバーが水中ウォーキングを行っています。ぜひ感想を読んでみてください。

メンバーの感想

自分は腰痛の改善と体力づくりを兼ねて水中ウォーキングをしています。自分はカナヅチで泳げないのでもっぱら歩いています。だいたい1時間ほど歩いていますが、始める前に比べて大分腰回りが楽になった気がします。このまま継続して腰痛と、おさらばできる体作りができればいいなと思います。Kさん



芋ほり

10月14日の芋ほりが、10月28日に延期になり、28日も雨天のため、残念ながら、一般の方の芋ほりの大部分が中止になってしまいました。

そこでメンバー達により芋ほりをしました。

<メンバーからの一言>

一度掘って5個取れました。楽しかったです。(Tさん)
膝が痛くなってしまったけれど、十数個取れてうれしかったです。大きいのが取れて楽しかったです。2つ目のお芋は甘くておいしかったです。Rさん
味は甘さ控えめで、ピターな大人の味がしました。Nさん
普通においしかったです。Mさん



苺の苗の定植

いよいよ、来シーズンの苺狩りOPENへ向けて苺の作業が始まりました。8月中旬よりプランターの水を排水するためのホースのメンテナンスから始まり、苗を植えつけえるためのプランターの培地への穴あけ作業。そして、章姫と紅ほっぺ合わせて約5300株の苺の苗が9月19日に章姫から無事届き、その日から苗の定植作業が始まりました。定植作業はまず、苗をプランター毎に振り分け、手の指で茎を挟みこんで逆さまにし、ポットから引き剥き根を少し指で解すように三分の一程切り、その苗をプランターの穴に押し入れ、そのあとあまり根が切れないように注意しながら苗を定着させます。1つのプランターには、10株ほど千鳥に植え込みます。植えたかにも方向があり苗のランナーと言われる部分が生えている方向をプランターの内側に向けてうえていきます。そう植えることによって、プランターの外側に向かって赤い苺の実がなります。定植に当たっては、ランナーが取れてしまって実際の位置がわからない物もあったようですが、苗屋さんの方があらかじめピンを全部の苗にマーキングしてあるので、それを頼りに植えつけました。また、ポットから出した根や土が空から乾いていたものもあった様に見受けられました。これで、大丈夫かなと凄く心配になりました。しかしそれから、一週間ぐらいすると芽吹いてきたので心配なさそうです。10月6日には2株の苗の花が付きました。まだ、蜂を入れるには早いので人工授粉したそうです。早ければ、12月の終わりか新年の初めにはOPENになると思います。沢山の実をつけてくれることを祈っています。Kさん

9月から苺の苗植えの作業がありました。

施設長をはじめ、B型メンバーとスタッフ皆で協力しながら約5300株を丁寧に植え、無事終了しました。

今後はおいしい苺が沢山なる様に、そしてお客様に喜んで貰える様にこれからも苺の作業を頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いします。Mさん



実習生の感想 Y.M 高崎福祉医療カレッジ

8日間という短い実習期間でしたが、夢工房翔裕園の利用者さんやご指導いただきました関係職員の皆様には、大変お世話になり有難うございました。就労移行チームでは、生産活動やウォーキング、ハローワーク等への同行を通して、様々な実践を学ばせていただきました。B型就労継続チームでも、分からない作業のやり方を皆さんに優しく教えて頂き、大変助かりました。草取りでは、暑い中、皆さんと一緒に汗を流して頑張れたことが思い出されます。特に、実習生であるということを忘れて、楽しんで参加している自分がいました。また、自分自身と向き合ういい機会となり、充実した実習ができました。夢工房翔裕園で多くを学び貴重な体験ができたことに感謝します。心より皆様のご多幸をお祈りいたします。